

平成 22 年 11 月 17 日

各 位

日 本 証 券 業 協 会
証券市場の新たな発展に向けた懇談会

アンケートの集計状況のご報告

昨 11 月 16 日までの、「証券投資についてのアンケート」の回収件数につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

記

	回収件数	備 考
書面アンケート	6,463 件	10 月 13 日開始 11 月 11 日終了
ウェブアンケート	18,759 件	10 月 13 日開始 11 月 11 日終了
モニターアンケート	10,000 件	10 月 19 日開始 22 日終了
小計	35, 222 件	

投資の日アンケート	5,775 件	28 会場で開催 来場者約 7,768 名 回収率 74.3%
総計	40, 997 件	

以 上

証券投資についてのアンケート調査の実施について

平成 22 年 10 月 19 日
日 本 証 券 業 協 会
証券市場の新たな発展に向けた懇談会

1. 調査目的

証券投資に対する信頼性を向上させ、証券市場のさらなる発展を目指すため、現状における利用者等（投資経験者及び一般消費者）からの満足度、意見等を把握し、今後の施策の検討に際しての基礎資料とする。

2. 調査対象

- ・ 全国の証券会社等の利用者（投資経験者）
- ・ 全国の証券会社等の未利用者（一般消費者）

3. 調査内容

- ・ 利用者を対象とするアンケートでは、
 - ① 証券会社等を選ぶ際に重視する点は何か、及びそれらに対する満足度はどの程度か
 - ② 関心のある金融商品や、証券会社等が提供するサービスに対して、さらに求めることは何か
 - ③ 証券投資を通じた幅広い資産形成、証券投資に係るセイフティーネット、自主規制機関などがどの程度認知されているか
 - ④ 証券投資の諸制度（金融商品取引法、自主規制規則、証券税制など）において必要と考えられていることは何か等について調査を行う。
- ・ 未利用者を対象とするアンケートでは、
 - ① 現在、証券投資を行っていない（証券投資をやめた）理由、証券投資に対して持っているイメージ
 - ② 証券投資を通じた幅広い資産形成、証券投資に係るセイフティーネット、自主規制機関などがどの程度認知されているか
 - ③ 証券投資の諸制度（金融商品取引法、自主規制規則、証券税制など）において必要と考えられていることは何か等について調査を行う。

4. 調査方法

(1) 書面によるアンケート調査

- ・ 本協会及び証券会社等が主催するイベント会場への来場者に対しアンケート用紙を配布
 - ※ 本協会が主催する「投資の日」記念イベント（全国 23 都市 30 会場）及び証券会社等が主催するセミナー会場等
- ・ 証券会社等の営業員を通じ、訪問先顧客等に対しアンケート用紙を配布

(2) ウェブサイトを通じたアンケート調査

- ・ アンケート専用サイト (<https://www.i-enquete.jp/2010/>) を開設し、本協会及び証券会社等のウェブサイトからのリンクを通じて、同専用サイトへの訪問者に対しオンラインアンケートを実施
- ・ 外部委託先の調査会社を通じ、アンケートモニターに対しオンラインアンケートを実施
 - ※ アンケートモニターに対するアンケートの内容は、アンケート専用サイトと同じものを予定。
 - ※ 調査会社の登録モニターから 10,000 サンプルの回収を予定。

5. 調査日程

平成 22 年 10 月中旬～11 月 11 日

以 上